



31期（昭和55年3月卒業）

- 監督 松野 守康
(※監督に関しては、夏季岐阜県大会時を表記しております。)
- マネージャー 藤本 智子、三嶋 緑
- 選手数 11人

氏名	出身中学
赤塚 重美	厚見
泉 勇造	蘇原
梅田 貴昭	三輪
川瀬 和仁	加納
後藤 達仁	島
佐藤 強	加納

氏名	出身中学
須田(清水) 眞	長森
三嶋 勲	本荘
吉川 雅彦	本荘
吉田 修	加納
吉村 浩司	島

■第31回 秋季岐阜県高等学校野球大会

1回戦		不戦勝	
2回戦	○ 長良	1 - 0	美濃加茂
準々決勝	△ 長良	4 - 4	県岐阜商
(引分け再試合)	● 長良	4 - 7	県岐阜商

■第26回 春季岐阜県高等学校野球大会

地区大会敗退

■第61回 全国高等学校野球選手権岐阜大会

1回戦		不戦勝	
2回戦	○ 長良	5 - 1	大垣工
3回戦	○ 長良	4 - 0	武義
準々決勝	○ 長良	4 - 3	岐阜
準決勝	● 長良	2 - 3	多治見工

■現役当時の様子や概況など

主将・吉川を中心とした個性豊かなチーム。

53年夏の県大会決勝で0-1で負けた敗戦を胸に、「打倒、県岐阜商」を合言葉に新チーム結成。秋の県大会は、県岐阜商と9回同点のまま日没再試合となる熱戦。再試合では惜しくも敗れ、県岐阜商の壁を破れず。

夏、準決勝進出。多治見工業相手に9回表まで2-0とリードしながら、裏に3点失いさよなら負け。勝てば決勝は2年連続の長良vs県岐阜商。しかも双子の吉川兄弟対決かと騒がれたが、目前にして散った。

打線は、1・2番を吉村、吉田、泉、梅田、赤塚の中から調子を見て起用。長打力のある三嶋、吉川、後藤のクリーンアップで得点するパターン。

新チーム結成直後の夏休み中、多治見工業との練習試合。相手の後藤監督(22期)と松野監督(27期)のOB対決では、選手よりも監督同士がヒートアップ。両チームともちょっとしたミスでも往復ビンタの嵐。お互いに1試合で50発以上のビンタが乱れ飛ぶ乱打戦?が、一番の思い出である。